

編 集 後 記

久しぶりに映画を見ました。新聞の紹介記事、「そこにはまず考えがある。だれもがみんなのおかげで生きている、という考えが。そして持続する行為がある」、にひきつけられて。その考えがどのような具体的な行為となって現れているのかを確かめたいと思いました。

この映画「すべての些細な事柄」の舞台となったのはフランスの森の中の城。そこで暮らす、精神科医・様々な経歴をもった患者・看護人たち。カメラは彼らが一緒に暮らす静かな生活に向けられます。その二か月間は年一回の芝居の上演に向けた日々でした。そこでは、練習風景と

共に、一人一人の一見些細な日常が繰り返して映し出されます。

上演会の次の日、患者は監督に言います。「僕らは仲間同士だ。あんたも今は僕らの仲間だよ」と。

監督は後に語っています。「治療すること、それは第一に、一人一人のアイデンティティや特異性を守りながら一緒に生きていこうとすることです。……最も日常的な様々な活動が欠かせない役割を果たすこととなります」。彼はカメラを回しながらこの考えを実践しました。

そこには、まず考えがある。患者や看護人の振る舞いのさりげなさと、それを受け止める患者の敏感さなどが心地よく結び付いている姿が映し出されます。観ている私にも、監督も看護人も患者も、誰もが仲間。なのだと思われました。(A)

幼 児 の 教 育

第九十七巻 第十一号

(一九九八年十一月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十年十一月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112 東京都文京区大塚二一一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108 東京都港区三田五二二一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113 東京都文京区本駒込

六一四一九

〒〇三二五三九五一六六三(営業)

〒〇三二五三九五一六六四(編集)

振替 〇〇一九〇二一一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレー

ベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。